

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策評価	政策	品質・有効性・安全性の高い医薬品・医療機器を国民が適切に利用できるようにすること（Ⅰ－6）									
		施策	医薬品の適正使用を推進すること（Ⅰ－6－3）									
		測定指標	定量的指標		単位	25年度	26年度	27年度	中間目標 －年度	目標年度 －年度		
				実績値	－	－	－	－	－	－		
				目標値	－	－	－	－	－	－		
		本事業の成果と上位施策・測定指標との関係										
		－										
		経済・財政再生アクション・プログラム	改革項目	分野：	－							
			（第一階層） KPI	KPI（第一階層）			単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度
					成果実績	－	－	－	－	－	－	
				目標値	－	－	－	－	－	－		
				達成度	%	－	－	－	－	－		
	（第二階層） KPI		KPI（第二階層）			単位	計画開始時 －年度	27年度	28年度	中間目標 －年度	目標最終年度 －年度	
				成果実績	－	－	－	－	－	－		
				目標値	－	－	－	－	－	－		
			達成度	%	－	－	－	－	－			
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係												
－												

事業所管部局による点検・改善		
	項 目	評 価
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	－
	一般競争入札、総合評価入札又は随意契約（企画競争）による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	－
	競争性のない随意契約となったものはないか。	－
	受益者との負担関係は妥当であるか。	－
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	－
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	－
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	－
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）	－
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	－
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	－
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	－
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	－

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			-
	所管府省・部局名	事業番号	事業名	
	-	-	-	
点検・改善結果	点検結果	-		
	改善の方向性	-		

外部有識者の所見

点検対象外

行政事業レビュー推進チームの所見

事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

現状通り	-
------	---

備考

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-	
平成25年度	-	平成26年度	-	平成27年度	-	

※平成27年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

厚生労働省
180百万円

【補助】

A 都道府県
175百万円

B 民間団体等
5百万円

【地域の薬局全体のかかりつけ薬局機能強化のための連携推進事業などを実施】

【患者のための薬局ビジョン実現のための調査・検討事業】

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.都道府県			B.民間団体		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	-	-	-	-	-	-
	計		0	計		0

支出先上位10者リスト							
A.							
	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率 一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	-	-	-	-	-	-	-

